

琴水チャンネル

田人散策



9月16日〜19日で行わきチャレンジライフが田人町で行われました。チャレンジライフとは地域でのお仕事体験やアクティビティ、地域交流を通していわき地域への移住を推進するプログラムです。田人地区では2年前から「地域マップづくり体験」を行っています。地域の方と参加者で町を周りスポットごとの魅力や特徴を発見してマップに落とし込んでいきます。今回は最後の地区散策とマップ作成で、下黒田地区と石住地区を参加者2名の方と齋藤富士代さん(下黒田地区)、大竹保男さん(石住地区)に案内して頂きながら散策しました。

私自身もまだまだ知らない場所や歴史が沢山あり大変学びの多い時間でした。参加してくれ方も「地区ごとに山の風景や神社の雰囲気等も違う。実際に訪れてみないと分からない魅力が沢山ある。」と話してくださいました。

もちろん写真はその場所に足を運ぶきっかけになります。しかし、実際に自分の目で見た景色や匂い、感覚、感情が地域の魅力の発見に繋がります。自分の感性を磨くことにも繋がるのだと改めて気づかされました。各地区で沢山の方にお世話になりました。ご協力頂いた皆様本当にありがとうございます。

湯殿山神社(右)
クマガイソウ(左)



熊野神社



クリーン活動

貝泊地区



南大平地区



田人クリーン隊活動を始めて一年が経ちました。毎月毎月本当に沢山の方に参加して頂いてありがとうございます。心より感謝申し上げます。お陰で去年より、どの地区もごみの量が減ってきました。そして、更に嬉しいことは、清掃日以外の日でも自主的にごみ拾いをしている方を見かけることが増えました。こんなに嬉しいことありません。私自身も意識が変わり、以前よりもごみが目につくようになり、場所問わずごみ拾いするようになりました。ごみ拾いすると運気も上がるそう。今月も沢山のご参加お待ちしております。



この半年間のボランティア受入について計算してみました。
・日数…45日
・人数…175名(日計算)
意外に活動してんだなあ〜と、しみじみ感じております。

早稲田大学生のワークキャンプ受入!

8月30日〜9月5日の1週間早稲田大学のボランティアサークル【WHABERTAT(わびたつと)】の学生10名+東京農工大学生1名。合計11名の学生たちが田人ワークキャンプ・ビレッジに宿泊をしながら田人町のボランティアをしてくれました。

初めてのサークル単位で行ったワークキャンプでしたが、天候に恵まれず曇りや雨天が続きみんな泥と汗でドロドロになりました。お陰で懸命活動してくれました。お陰で頼まれていたボランティアについても無事に終わることができました。



石割桜の柏坂から高松へ向かう旧289号線の道が埋もれ狭くなっていましたが、学生達の力で約幅1.5m長さ80m切り開きました。
何十年振りに白線が見える道になりました!



before



after

●ぶどう園さんの草刈ボランティア



●ピーマン収穫のボランティア



今回に限らず、早稲田大学の学生たちが来てくれるよう連携をしながら継続して行っていききたいです。また、若者の力が欲しい方がいらっしやいましたら、次年度に向けて計画をしていきますので、お声かけいただけると嬉しいです。

田人中学3年生 田人学級の総まとめ授業!

田人中学校3年生達から3年間学んだ「田人学」のまとめとして「田人町に人が来てくれる様な紹介映像を作りたい」と相談がありました。昨年の冬と一緒に仕事をした「天才れびくんTeam」のテレビディレクター渡部裕佳さんを講師にお迎えして、12月3日の発表会に向けて田人の映像制作をしています!





来年から住む家について

来年の4月から住める家が見つかりました！(詳しい場所は防犯上詳しくは伏せさせていただきます。ご容赦ください。)

この家を見つげるにあたっては、区長さんや田人地域振興協議会など、沢山の方々にご協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

ですが、見つかって安心したのもつかの間、その家はすぐに住める状態ではありませんでした。幸い、ご家族がごまめにお掃除されていたのもあって大きな損傷はありませんでしたが、築およそ70年近いこともあり、水回りや床の修繕が必要ということでした。費用もかかるため、こういった手段で、いつの時期に修繕していくか検討中です・・・

1年半に渡って田人で空き家探しをしていて気づいたことがあります。それは、空き家自体は地区内に沢山あるものの、空き家自体の老朽化がひどかったり、倉庫代わりになっていたり、年に数回集まる場所として使われていたりと、「住むにはとやがておぼろしい」という物件が多々あるという事です。

今回、幸運にも本物件に出会えたから良かったものの、この物件が見つからなかったら来年度から僕は田人に住めなかつたと思います。

市のホームページ(現住人口調査結果表)によると田人の人口は令和4年4月現在で1,308人です。令和3年4月には1,383人でした。1年で75人減少しています。このペースで人口減少が続いた場合、17年後には田人町の人口はゼロになります。

一方で、毎年数件、田人に住みたいという人がいるという声も聞きます。数字だけ見れば少数かもしれませんが、田人に興味を持ち、そして住みたいと思ってくれた人を受け入れられる環境づくりはこれからの田人に必要な取り組みです。その為にも、協力隊が終わっても田人のための取り組みは続けていきます！

薬師尊祭典に参加しました！

先月の話になりますが、出張先地区に古くから伝わる伝統行事の薬師尊祭典に今年も参加しました。

豊穰の神様への奉納としての棒・太刀の演武と太鼓の演奏を納めます。僕は棒術と太鼓演奏を担当しました。太鼓演奏は「じゃんがら念仏踊り」と一部叩き方が似ていますが、早いテンポ・素早い動きで演奏を求められるのが特徴です。どれも迫力のある演目でした！



このコラムは、田人の住民を、楽しく紹介し、田人の輪を広げよう！といった企画です。しもさんからバトンを受け取り、吉川が取材に行って参りました！

今回、取材したのは南大平在住の小野百合子(おのゆりこ)さんです。貝泊の生まれで、貝泊中学校を卒業後、東京に就職しました。給食に提供される冷凍食品を作る食品会社に5年ほど勤め、田人に戻ってきました。元々、東京に長く住むつもりはなく、「なんだかんだ山が好きなんだあ」と優しい笑顔でおっしゃっていました。田人に戻ってすぐにご結婚され、マルトの総菜売り場に勤めながら、南大平に旦那さんのご家族と一緒に住み始めました。

はじめは、周りに同世代も少なく、寂しい想いをしていましたが、少しずつ地域の活動に参加し始めてからはだんだんと田人に親しみを持つようになり、楽しくなってきました。ただ、楽しい事ばかりではありません。毎日の勤い、家に帰れば家族のお世話。それが終わってから夜の会議に出席していたので、それはもう目の回る忙しさでした。

しばらくして、百合子さんは区長の勧めにより集落支援員を務める事になります。

集落支援員制度とは、その地域の実情に詳しい方や集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が市から委嘱を受けて、職員と連携し、地域の課題解決に取り組むという制度です。

田人町には8地区合計6名の女性の支援員さんがいらつしやいます。皆さんのお料理の腕を生かし、農家レストランの実施や、ほっこり祭・ほたる祭りなど田人を盛り上げるイベントに出店という形で尽力されています。集落支援員という制度の認知がまだまだ少ない事と、ここ数年はコロナの影響で大きく活動できない事から「なにかしなくちやならないけど、なにができるんだっぺか・・・」と悩んでおられました。今回は家庭のある女性の身で地域活動に取り組み大変さを教えて頂きました。改めて、仕事や家事の傍ら地域活動に参加している方々に敬服の念を抱きました。



きれいなお庭でパシャリ。庭を手掛けたのは旦那さん。一つの作品のよう素敵でした。

HITO-TABI ひとたび通信

10月営業日
カレンダー

	tue	wed	thu	fri	sat	sun
					1 貸切	2 休
※コーヒーマークが営業日	3 休	4 休	5 休	6 休	7 休	8 休
	9 休	10 休	11 休	12 休	13 休	14 休
	15 休	16 休	17 休	18 休	19 休	20 休
	21 休	22 休	23 休	24 休	25 休	26 休
	27 休	28 休	29 休	30 休	31 休	

HITO-TABI
住所: 田人町黒田
字唐沢35
TEL:070-2437-9633
(ご予約も可)